



そごう・西武労働組合がストライキ決行

雇用の維持は

労働者の最大の課題！

臨時閉館のお知らせ

8月31日(木)は、
そごう・西武労働組合による
ストライキ実施の影響により、
誠に勝手ながら
全館臨時閉館
とさせていただきます。

また、9月1日(金)は営業いたしますが
ストライキの影響により一部通常の営業と
異なる売場がございます。

大変ご不便、ご迷惑をおかけします
こと、深くお詫び申し上げます。

西武池袋本店

店舗の入口に貼り出されたお知らせ

外資系企業への売却をめぐる、雇用維持と百貨店事業の継続を求めて「そごう・西武労働組合」が、会社側と団体交渉で議論を続けていましたが合意に至らず、8月31日ストライキを決行しました。

ストライキが行われている中、親会社であるセブン&アイ・ホールディングス(HD)は8月31日、臨時の取締役会を開き、傘下の百貨店「そごう・西武」を9月1日に米投資ファンドに売却することを決議しました。セブン&アイ・ホールディングスは、2月に売却を目指していましたが、労働組合や地元自治体も懸念を示し売却が延期となっていました。

議論が進まない中での売却決議は、“**西武池袋本店で働く労働者の雇用不安をあおる行為**”であり、“**地域の顔としても疑問を抱かせる行為**”です！



全てのコメントはこちらへ！

JTSU 市橋顧問弁護士がコメント！

親会社であるセブン&アイ・ホールディングスは、売却後の雇用維持について売却後の協議に委ねるという姿勢のようだが、それでは従業員・労働組合が不安に感じるのも当然。

「雇用を守ること」は労働組合にとっての至上命題。売却決議が行われる見通しであることから、今後も従業員の雇用を守るために粘り強く交渉を続けてもらいたい。経営側には労働者の声に耳を傾けて、誠実に交渉に応じていただきたい。

JR東日本グループにおいても労働組合を軽視し不誠実な団体交渉が行われ、「会社の責任」という大義名分で一方的に施策が実施されています！
また会社は、現場の声を重視するために「ボトムアップ」を強調していますが、実際は「上意下達で、物言えぬ雰囲気」が未だに見受けられます！

会社のチェック機能を果たせるのは労働組合しか出来ません！

今こそJTSUに結集し、ともにたたかおうではありませんか！

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

JTSUは持続可能な開発目標(SDGs)を
応援しています。